



# 本町ほのぼのだより 第8号

発行：中野区立本町図書館 中野区本町2丁目13番2号 Tel 03-3373-1666

発行年月日：平成24年9月1日 第8号

第8回 本町図書館 個性づくりテーマ展示

## 舞台よりどりみどり

本町図書館では、『文化・芸術・芸能』に関する資料を、絵画や音楽、工芸、伝統芸能など幅広い分野にわたって収集・展示をしております。

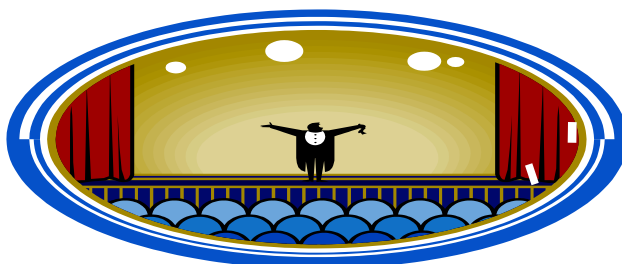
第8回目となる今回は、「舞台よりどりみどり」と題してお届けします。6点の芸能を通じて、それぞれに表現方法の違う舞台の魅力をご紹介します。

たとえば、歌舞伎やオペラと聞くと、何となく格式張っていて、近寄り難いというイメージがあるかもしれません。人々はずっと昔から歌ったり、踊ったりしてきました。それは作物の収穫などに対する神への感謝の気持ちから始まりました。そして、歌や踊りそのものを楽しむようになりました。これは世界中で変わらないことです。環境や地域ごとに発達した舞台芸能に、もっと気軽な気持ちで触れてみてください。非日常の世界を楽しむきっかけになるかもしれません。

展示場所：本町図書館 2階書架

展示期間：平成24年9月1日(土) ～ 10月25日(木)

※ 展示資料は貸出もできません。



# 舞台の魅力

## バレエ



舞踏と音楽で表現される劇芸術で、バレエの語源はイタリア語で踊りを意味するバレラから来ていると言われます。

14世紀から15世紀のイタリアで生まれ、その後16世紀にフランスやロシアで発達し、有名なバレエ団や名曲が多く作られました。バレエの大きな特徴はセリフが無く、踊りや身振り、手振り、仕草で感情や物語を表現します。バレエの舞台は照明の当て具合やダンサーの組み合わせ、オーケストラの演奏や舞台美術などによって華麗で幻想的な雰囲気を作られます。バレエの舞台は演出家やダンサーなどの配役によって、また同じ古典作品などでも演出表現や解釈の違いなどにより、印象が異なったり同じものとは思えない様々なバリエーションがあります。

### ローザンヌ国際バレエコンクール

スイスのローザンヌで毎年開催されるコンクールです。15～18歳だけが参加できる若手の登竜門として知られます。日本バレエ界の第一人者である熊川哲也さんも入賞しました。2012年2月4日、神奈川県在住の高校2年生の菅井円加<sup>すがいまだか</sup>さんが1位となり話題になりました。菅井さんは、英国のバーミンガム・バレエ団への入団を希望していて、「観客を感動させられるダンサーになりたい」と語っています。

## オペラ

オペラは、舞台上で衣裳を着て演技をする点では演劇と共通しています。しかし台詞だけではなく、独唱、重唱、合唱などを織り交ぜつつ、器楽合奏に伴奏されて進みます。特に役柄の感情表現を豊かに歌いあげる歌唱が特徴です。その形態は音楽を基調としながらも、対話により演じることから演劇の要素を持ちます。また、上演する上で重要な要素として視覚的に訴える舞台効果があげられます。オペラの歌劇場は華麗です。この絵画的要素も含むことから、「総合芸術」と呼ばれます。起こりは、16世紀にギリシャ悲劇を基にして歌うような台詞を用いる劇でした。時代が進むうち、より劇的な表現を強めます。18世紀には伴奏の規模が拡大し、音響効果も充実します。衣裳や舞台装置もきらびやかになっていきました。これに対し、世俗的に発展した喜劇オペラも興隆しました。モーツァルトの「フィガロの結婚」（1786年）などが有名です。



### 絵本『ブルンディパール』のご紹介

華麗な衣裳と舞台装置の「オペラ」にも、身近で魅力的なものがあります。子どもたちが演じるオペラ「ブルンディパール」です。初演は1942年、ブラハの孤児院でした。そのあと、ナチスの強制収容所で55回も上演されたという話もあります。

「わるいやつらはかならずまける…ちからをあわせてやっつけよう。ともだちがいればつよくなれるよ」

その舞台を、20世紀を代表する絵本作家、モーリス・センダックが絵本に描いています。決して児童書だと侮れません。

「ブルンディパール」 トニー・クシュナー再話 モーリス・センダック絵 徳間書店 2009年 Eセ 本町図書館所蔵

## ミュージカル

オペラを模倣しながら、19世紀後半のアメリカで生まれました。状況の説明や感情の高まりを描くときに台詞から歌に移行します。ブロードウェイ・ミュージカルと呼ばれるものには、「ウエスト・サイド・ストーリー」や「サウンド・オブ・ミュージック」などがあります。1980年代以降は、ブロードウェイに比べ3分の1の製作費で舞台が作れるロンドンで上演して成功させてから、ブロードウェイに乗り込む図式が定着しました。これがロンドン・ミュージカルです。「キャッツ」や「オペラ座の怪人」などの作品が誕生しました。

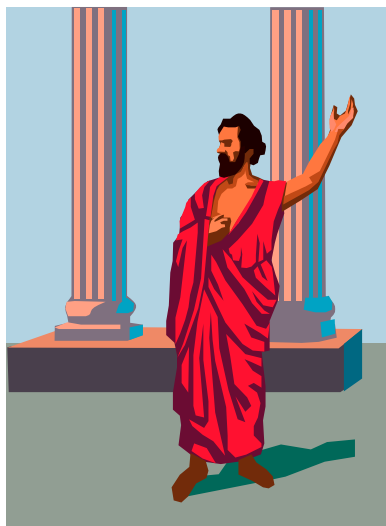
日本での本格的なミュージカルは、1963年の菊田一夫（劇作家・東宝重役）による「マイ・フェア・レディ」の翻訳ミュージカルが最初です。現在の日本のミュージカル界では、公演回数日本一の劇団四季、女性で構成される宝塚歌劇団、そして東宝の3大劇団が有名です。



### 劇団四季の活動について

来年には創立60年目を迎えます。年間3,000ステージをこなし、700名以上の俳優・スタッフがいます。東京に5つの劇場と大阪、京都、名古屋、札幌を含め常設9つの劇場があるのも強みです。去年の「東北特別招待講演」では、東北を舞台にしたオリジナルミュージカル「ユタと不思議な仲間たち」を岩手、宮城、福島沿岸地13市町をまわり、13,000人の小中学生、保護者の無料招待を行いました。

## 現代演劇



日本で「演劇」の語が用いられたのは明治以降のことで、それまでは「芝居」でした。これはかつて屋外で猿楽や曲舞・田楽などの勧進興行が、社寺の芝生を柵で囲い見物席として座って見たことが始まりです。演劇の社会影響は大きく、大正から昭和にかけて新劇運動が革命運動として弾圧されたこともありました。明治以来、坪内逍遙や森鷗外らが、演劇の重要性を唱え、西洋の文学などを取り入れて、新派や新劇を生みました。演劇は色々な時代を経て、現代では私達の生活に潤いを与えてくれる存在です。現代演劇での著名人も多数いますが、三谷幸喜や蜷川幸雄、つかこうへいなどの個性的な演出も話題です。2012年版の演劇年間の別冊には、関東だけでも約300以上の公演団体が掲載されています。

### 演劇集団キャラメルボックスについて

中野区に事務所を置く演劇集団キャラメルボックス。1985年に早稲田大学の演劇サークル出身の成井豊、加藤昌史らが結成。成井豊を代表とした約40名の劇団員が活動しています。NHKドラマ「大地の子」主演の上川隆也を輩出した人気の劇団です。『成井豊のワークショップ』は、俳優を目指していても、そうでなくても楽しく読める一冊です。

「成井豊のワークショップ」 成井豊著 論創社 2010 771.7ナ 本町図書館所蔵

## 歌舞伎



日本が誇る伝統芸能・歌舞伎は、400年以上前より続いてきました。その語源は、江戸時代の初めに使われた「傾く」(型破りな様を意味する)に由来し、出雲の巫女・阿国が、当時の風俗を模し派手な男装姿で興行を行ったことに始まると言われています。歌舞伎の題材は、庶民の話題を扱う世話物、音楽に合わせて踊る舞踊劇、江戸時代以前の歴史的事件を描く時代物で、江戸の庶民にとって身近な内容でした。現在、高尚なイメージがありますが、歌舞伎座の建て替え・バリアフリー化やスーパー歌舞伎、地方興行や子供向け興行など、時代に対応し続けることで、広く愉しめるよう工夫されています。

### 女形の坂東玉三郎 人間国宝に認定

2012年7月20日、文化審議会は、歌舞伎女形の坂東玉三郎さんを重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定しました。坂東玉三郎さんは、1957年に初舞台、64年に五世坂東玉三郎を襲名しました。あらゆる分野の女形に精通し、四世鶴屋南北作の世話物や舞踊作品の演技に定評があります。この知らせを受けた坂東玉三郎さんは「先輩方から学んだ芸を次世代に引き継ぐことが私の使命」と語っています。

## 能

江戸時代までは猿楽と呼ばれ、明治以降、狂言とともに能と総称されるようになりました。起こりは奈良時代に中国から伝わった散楽(物真似や軽業などの起源となる芸能)に端を発したと言われます。室町時代の初めに、観阿弥・世阿弥父子により大成されました。猿楽を業とする座が各地で発展し、四座を総括する大和猿楽などが隆盛します。將軍や大名の保護のもと発達しますが、江戸幕府の崩壊により衰退します。やがて明治14年、岩倉具視らが再興し、芝能楽堂を設立して靖国神社へ奉納されました。演出の特徴は、演じるより舞が重要視され演出家がいません。台本に当たる謡曲によって、シテと呼ばれる中心人物やワキなどの演技と、能面・能装束などの扮装、大道具・小道具に至るまで一つのパターンがあり、これらに囃子方(大鼓・小鼓・笛・太鼓)やコーラスに当たる地謡が協演します。



### 本『梅若六郎家の至芸』のご紹介

著者である梅若六郎玄祥さんは、中野区ゆかりの人物としても知られる能楽師(観世流シテ方梅若家当主)です。昭和26年3歳で鞍馬天狗の子方で初舞台を踏みます。昭和54年に梅若能楽院理事長に就任し、昭和63年56世梅若六郎を襲名します。現在、人気・実力ともに第一人者として活躍し、生きる古典芸能としての能を支え、海外への能の紹介など意欲的な活動をされています。この本では、奈良時代から続く梅若家四代の歴史を見つめ直し、能への想いを語っています。

「梅若六郎家の至芸」 梅若六郎玄祥編 淡交社 2010年 773.8ウ 中央図書館所蔵



## 参考図書いろいろ

- 「バレエ・パーフェクト・ガイド」 ダンスマガジン編 新書館 769.9バ 本町図書館所蔵  
「バレエに育てられて」 牧阿佐美著 新書館 769.9マ 中央図書館他所蔵  
「能・狂言」松田存著 ぎょうせい 773マ 本町図書館所蔵  
「歌舞伎の事典・演目ガイド181選」 藤田洋著 新星出版社 774フ 本町図書館所蔵  
「歌舞伎ハンドブック 第3版」 藤田洋編 三省堂 774.03カ 上高田図書館所蔵  
「一冊でわかるミュージカル作品ガイド100選」 瀬川昌久監修 成美堂出版 775.4イ 野方図書館所蔵  
「舞台芸術「表」「裏」絵事典」 織田紘二監修 PHP研究所 児童書77 本町図書館所蔵

## 展示図書紹介

### 「知識ゼロからのミュージカル入門」

塩田明弘監修 幻冬舎 2009 775.4チ 本町図書館所蔵  
ミュージカル指揮者の塩田明弘によるミュージカルのガイド本です。「ミュージカルって何？」という初心者から上級者まで楽しめる内容です。同じ幻冬舎から出版されている「知識ゼロから～」シリーズも解説が分かりやすく、内容も充実してお勧めです。



### 「歌舞伎のかわいい衣裳図鑑」

君野倫子著 小学館 2008 774.6キ 本町図書館所蔵  
歌舞伎の役者衣裳について書かれています。普段使いで手ぬぐいなど和の装いを楽しんでいる方にも、何を身につけようか悩む楽しみをくれる一冊。歌舞伎座は、和装でお出掛けする目的地として最適ですね。

### 「和楽器の世界」

西川浩平著 河出書房新社 2008 768.1ニ 本町図書館所蔵  
歌舞伎や能など日本の伝統芸能の舞台で使われる和楽器についての本。三味線や箏などの「弾きもの」、尺八や笛などの「吹きもの」、鼓などの「打ちもの」に分けて各楽器の歴史や構造などがオールカラーで紹介されています。





## 展示図書リスト



書名	著者	出版者	出版年	分類記号
オペラ・シンドローム	島田 雅彦	日本放送出版協会	2009	766.1 シ
オペラと歌舞伎	永竹 由幸	水曜社	2012	766.1 ナ
日本バレエのパイオニア	糟谷 里美	文園社	2011	769.9 コ
ロシアバレエに熱狂したバレリーナ	千野 真沙美	文園社	2010	769.9 チ
バレエの筋肉、使えてますか？	クロワゼ	新書館	2011	769.9 バ
ピルエット！	クロワゼ	新書館	2011	769.9 ピ
演劇は道具だ	宮沢 章夫	イースト・プレス	2012	770 ミ
成井豊のワークショップ	成井 豊	論創社	2010	771.7 ナ
蜷川幸雄の稽古場から	蒼井 優 他	ポプラ社	2010	772.1 ニ
能って、何？	松岡 心平	新書館	2000	773 ノ
すぐわかる能の見どころ	村上 湛	東京美術	2007	773 ム
絵で読む歌舞伎の歴史	服部 幸雄	平凡社	2008	774.2 ハ
ザ歌舞伎座 完全保存版	篠山 紀信	講談社	2009	774.5 シ
歌舞伎のかわいい衣裳図鑑	君野 倫子	小学館	2008	774.6 キ

見てみよう！行ってみよう！

### ■ 歌舞伎美人（かぶきびと）

歌舞伎のことなら歌舞伎美人。松竹株式会社が運営する歌舞伎の公式ウェブサイトです。歌舞伎の公演情報やニュース配信に加え、歌舞伎の世界、「和」の世界を楽しむコンテンツを発信しています。

HP : <http://www.kabuki-bito.jp/index.html>

### ■ 日本舞台芸術振興会

公益財団法人日本舞台芸術振興会（略称NBS <http://www.nbs.or.jp/>）は、音楽、舞踊を主とする舞台芸術の国際交流、普及向上を目的として、バレエ、オペラなどの公演を東京文化会館等で行っています。

### ■ 東京文化会館

東京都が「オペラやバレエもできる本格的な音楽ホールを首都東京に。」という都民の要望に応え、開都500年記念事業として1961年4月にオープンしました。大小ホール等の他、数少ない音楽専門の図書館、音楽資料室があります。クラシック音楽を中心に民族音楽、邦楽、舞踊などの資料を無料で閲覧・視聴することができます。

住所：東京都台東区上野公園5-45

TEL：03-3828-2111

HP : <http://www.t-bunka.jp/>

### ■ 梅若能楽学院会館

昭和36年、梅若家が、能学校の教習の場としての能舞台を東中野に建設しました。他の能楽堂では見られない自然光が入る能舞台は、能以外の分野の人も借りることができます。

住所：東京都中野区東中野2-6-14（財）梅若会 梅若能楽学院会館 TEL：03-3363-7748

HP : <http://umewakanoh.exblog.jp/>

### ■ 早稲田大学坪内博士記念 演劇博物館

早稲田大学キャンパス内にある誰もが気軽に入れる博物館です。昭和3年(1928)10月、坪内逍遙が古希の歳に達したことで、その半生を傾倒した「シェークスピア全集」全40巻の翻訳が完成したことを記念して、各界有志の協賛により設立されました。日本国内はもとより、世界各地の演劇・映像の貴重な資料を揃えており、資料の展示、講座など無料で参加できる催しを開催しています。

開館時間：月・水・木・土・日曜日(10時~17時) 火・金曜日(10時~19時)

休館日：祝祭日、連休となる日曜日、夏季・冬季授業休止期間、大学創立記念日(10月21日)、年末年始、入試期間など

住所：東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学内 TEL：03-5286-1829

HP : <http://www.waseda.jp/enpaku/index.html>



# 本町図書館からのお知らせ



本町図書館個性づくりテーマ展示「舞台よりどりみどり」はお楽しみいただけましたでしょうか。これからもみなさまの身近にある、お役に立つ図書館、新しい発見のある図書館を目指して、スタッフ一同取り組んでまいります。



## ☆おはなし会☆

毎週土曜日 11:00～11:30

第4水曜日 15:30～16:00

児童室にて開催中！

第4土曜日は乳幼児向けの

「おひざでだっこのおはなし会」

## ☆個性づくりテーマ展示☆

第四回・伝統工芸

第五回・音楽

第六回・デザイン

第七回・浮世絵

過去の個性づくりの本も  
展示してあります。  
是非ご覧下さい！

第一回・岡本太郎

第二回・落語

第三回・映画

7門書架にあります。

児童コーナー

## ☆秋のテーマ展示☆

9月「恐竜・竜・ドラゴン」10月「食べ物」

このほかにも、たくさんのおすすめ本を  
用意してお待ちしております！

## ☆9月・10月の休館日のご案内☆

<9月>

3日(月)・10日(月)・18日(火)・24日(月)・28日(金)

・館内整理日

<10月>

1日(月)・9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)

26日(金)・館内整理日

「本町ほのほのだより」

第9号は10月27日

発行予定です。

